

◆ 平成 27 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO法人 食品リサイクル農園あさか

代表者：代表 野口久美子

URL :

1. 活動が必要とされた状況

生ゴミは家庭排出ゴミの約 40%を占めているが、殆どが焼却されている。生ごみを堆肥化し資源として活用すれば、行政の廃棄物処理費用削減の他、環境負荷の軽減、豊かな土壌・緑の保全等、環境保全効果大である。また、生ごみの資源化は市民が直接すぐに取り組める課題である。まず自ら実践実証し全市民が参加する循環型社会構築が急がれる。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

生ごみ等を拠点の畑へ持寄り、生ごみ・落葉等で堆肥作製、使用し、共同作業で、無農薬、有機野菜を作っています。会員自ら生ごみ減量、資源化、豊かな土壌、美味しく安全な野菜作りをし、小さな循環型社会構築を実践しています。啓発活動として、畑で体験学習、室内で講演会、展示会を実施。他団体との交流を深め、活動の普及、賛同者・協力者の増加を図り、行政との協働を進め、活動の拡大を図っています。

内容	実施期間	参加人数会員・参加者	活動実績
生ごみ持寄り	通年	12名／月×12月	2.3t
生ごみ落葉等堆肥化	11月～1月	参加部署5	3.5t
有機野菜作り	毎水・土曜	延400人／年	
なかよし体験講座	毎月・金曜	延550人／年	
ジャガ芋・里芋・柿酢作り等講座	3月～11月	延110人	
花まつりうどん店	4月	延30人／2日	435杯
低炭素まちづくりF	3月	25人	



なかよしネットメンバー

3. 活動の成果

生ごみ・落葉等計 5.8 t の焼却ごみ減量に寄与しました。また、じゃが芋・里芋講座、ジャガイモ掘り・里芋掘り・柿酢作りの収穫体験講座、秋の収穫祭にはBBQアウトドア料理講座を実施、次につながる会員・ボランティア予備軍を見込む事ができました。

3月に「低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉」他1件に講師を派遣し生ごみに関わる啓発講演、恒例の花祭りうどん店の出店、福祉NPO法人なかよしネットの農園芸療法体験講座、市民活動まつりで有機野菜販売など資金自立に向け柱となりつつあります。

4. 今後に残された課題

会員数 14 名と前年より 4 名減ながら、畑作業実働会員・協力者が 3 名定着し、作業環境はやや改善された。会員退会者の中には賛助会員となった方もおり、賛助寄付会員を増やす事も自立へのステップと勉強させられた年となった。

実作業戦力会員の強化、資金自立のための会員増は必須であり、会員・ボランティア募集のPR強化も実践中です。

